

平成 24 年 6 月 22 日

平成 24 年 3 月期 決算の概要

株式会社川島織物セルコン
京都市左京区静海市原町 265

(百万円未満切捨て)

1. 24 年 3 月期の個別業績 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

(1) 個別経営成績

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24 年 3 月期	33,215	△9.5	691	229.7	554	—	249	—
23 年 3 月期	36,690	△21.1	209	—	△10	—	△480	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
24 年 3 月末	27,819		10,017		36.0	
23 年 3 月末	28,998		8,685		30.0	

2. 経営状況について

【全体状況】

当事業年度には、8月に株式会社住生活グループが完全親会社、当社が完全子会社となる株式交換を実施しました。これによりLIXILグループ（㈱住生活グループおよび傘下の全事業会社を含めたグループ総称）の一員として、グループ内での更なるシナジー効果の創出を目指すと共に、より安定的な事業基盤のもとで成長を目指すことが可能になりました。

商品面では、医療・福祉・教育、各施設向けのコントラクトカーテンシリーズ「green days（グリーンデイズ）」を7月に、最上級のオーダーカーテンシリーズ「filo（フィーロ）」を10月にリニューアル発売しました。事業面では、タイルカーペットの製造・販売で世界トップシェア企業であるインターフェイスフロア社（米国）と日本市場における総代理店契約を締結しました。

また、環境省認定の「エコ・ファースト企業」として環境経営には引き続き注力しており、1月にはエコマーク商品の充実やその普及に努めたことが評価され、財団法人日本環境協会主催の「エコマークアワード2011」で「銀賞」を受賞しました。

当事業年度の売上高は、前年同期比34億74百万円減収の332億15百万円となりました。LIXILグループ入りに伴うシナジー効果もありましたが、自動車・列車・航空機内装材事業の分割（H22.7.1付）、震災の影響などから、減収となりました。

損益は、①全社的な原価低減・経費削減の効果、②シナジー効果、③赤字基調が続いていた自動車・列車・航空機内装材事業の分割の影響、などにより大幅に改善し、営業利益6億91百万円、経常利益5億54百万円、当期純利益2億49百万円となり、7期ぶりに黒字転換しました。

【事業別状況】

[身装・美術工芸事業]

緞帳や祭礼幕等を扱う美術工芸部門は、営業活動の強化により売上げを伸ばしたものの、帯を中心とした呉服部門が震災の影響を受け低迷したことから、売上高は前年同期比47百万円減収の21億79百万円となりました。営業利益は原価低減や経費削減の効果などにより、同26百万円増益の1億88百万円となりました。

[インテリアファブリック事業]

ホームマーケット（個人消費者向け）の販売は前年実績を上回りましたが、官公庁・法人・商業施設などのコントラクトマーケットへの販売が震災の影響による市場低迷のあおりを受けたことから、売上高は前年同期比10億19百万円減収の310億29百万円となりました。営業利益は原価低減や商品ミックスの改善による利益率の向上や、経費削減の効果などにより、同88百万円増益の5億66百万円となりました。

以上